



国土を **整え**、全力で **備える**

国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料

平成31年3月26日

<資料提供先>

合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

## 第4回 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会 の結果について

○ 本日開催した「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」の結果について、別紙のとおり、お知らせします。

- (参考) 第4回 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会
1. 日時 : 平成31年3月26日(火) 10:00~12:00
  2. 場所 : 広島合同庁舎1号館附属棟2階大会議室

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

TEL082-221-9231 (代表)

TEL082-511-6301 (夜間)

道路部 道路計画課長 吉田 真人 (内線4211)

(広報担当窓口) 広報広聴対策官 岩下 恭久 (内線2117)

企画部 環境調整官 井上 和久 (内線3114)

## 第4回 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会 結果概要

- 平成31年2月26～28日に実施した、「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験について、交通状況や渋滞状況の効果検証を実施。社会実験参加者数最大の2月27日は、社会実験前週の2月20日と比較して渋滞長※1が半減。 ※1 渋滞長：旅行速度が20km/h未満の連続する区間
- |        |         |     |        |
|--------|---------|-----|--------|
| 社会実験前週 | 2/20(水) | 渋滞長 | 約2.4km |
| 社会実験期間 | 2/27(水) | 渋滞長 | 約1.2km |

(参考)「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験

参加機関数	12機関
3日間のべ参加者数	231名 ※2
( 2/27参加者数	81名 )

※2 実験に自主的に参加されている方は含んでいない

主な取組み 時差出勤、徒歩・自転車出勤、  
公共交通出勤、相乗り出勤

- 交通マネジメントの強化に向け、現在の検討状況の意見交換を行った。
- (1) 地域特性を踏まえた交通マネジメント方策の検討
- ・公共交通機関への転換を図る取り組みとして、呉駅において、バス利用者の利便性向上に向け、バスのりば全体案内看板や停留所及び行き先案内をわかりやすく明示する改善案を提示。関係機関の準備が整った時点で刷新し、利用者の反応をフォローアップしていく。
- (2) リアルタイムな情報収集や情報提供の強化
- ・AIカメラを活用したリアルタイム交通量観測について、国道31号で試行的に行った結果、高い検出率で、交通量の1日の変動や日々の変動を車種別や方向別で把握できることが確認できたため、今後の平常時や災害時の交通状況把握への活用が有効であることを共有。また、関係者間の情報共有環境の仕組みづくりについて検討を継続。
- 都市圏の交通マネジメントの方向性について、今後も検討を推進していく。また、モビリティマネジメントの住民への浸透・定着を目的に、まずは、今年7月の実地訓練の実施に向け準備を進めていく。
- 今回の災害時の交通マネジメントにおける教訓を踏まえ、この経験を広く継承すること、また、効果的な取組を全国に展開するための成果作成を引き続き推進する。